

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患等政策研究事業

(難治性疾患政策研究事業)

潰瘍性大腸炎の発症関連及び予防要因解明を
目的とした症例対照研究

平成27年度～29年度 総合研究報告書

研究代表者 三宅 吉博

平成30(2018)年4月

目 次

I . 総括研究報告

潰瘍性大腸炎の発症関連及び予防要因解明を 目的とした症例対照研究 三宅吉博	-----	1
---	-------	---

II . 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	49
---------------------	-------	----

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））
総合研究報告書

潰瘍性大腸炎の発症関連及び予防要因解明を目的とした症例対照研究
（H27-難治等(難)-一般-033）

研究代表者： 三宅 吉博 愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学 教授

研究要旨

潰瘍性大腸炎の発症と関連する環境要因及び遺伝要因解明のため、症例群400名と対照群800名を目標とする症例対照研究を実施、運営した。

研究協力医療機関においては、症例群のみリクルートした。本研究の概要を症例群候補者の患者に話し、詳細説明については、愛媛大学研究事務局より後日、電話で行う旨、説明して頂いた。その際、個人情報提供に関する同意書に署名を頂いた。担当医は患者シートに当該患者の投薬及び重症度に関する情報を記入し、署名済み個人情報提供同意書とともに愛媛大学研究事務局に郵送した。以後のやり取りは愛媛大学研究事務局と対象者間で行った。

対照群については、性別と年齢（5歳階級）をマッチさせて愛媛大学医学部附属病院や関連の医療機関でリクルートを行った。

最終的に症例群として52医療機関から計384名が研究に参加した。対照群は愛媛大学及び関連病院から666名が研究に参加した。

方法論的欠点として、愛媛大学医学部附属病院及び関連の医療機関で対照群をリクルートした点が挙げられる。

今後、このデータを活用することで、潰瘍性大腸炎の一次予防に資する数多くのエビデンスを創出できる。

全身性エリテマトーデスのリスク要因に関するエビデンスは国際的に乏しい。日本人においても同様に、環境要因、遺伝要因に関する質の高いエビデンスは非常に少ない。早急にエビデンスを蓄積する必要がある。

今後、全身性エリテマトーデスの症例対照研究を実施するために、半定量食事摂取頻度調査票以外の環境要因に関する質問調査票を開発した。

家族状況、居住状況、出生・乳幼児期状況、体格、職業、職業曝露、喫煙、受動喫煙、食行動、飲酒、居住環境、運動、睡眠、口腔状況、うつ症状、内服状況、既往歴、家族歴、ストレス状況、学歴、年収、生理状況等に関する質問を含んだ30ページから成る質問調査票を開発した。

半定量食事摂取頻度調査票を含めると約50ページから成る質問調査票で情報を得ることになる。

環境要因と全身性エリテマトーデスのリスクとの関連に関する数多くのエビデンスの創出に大きく貢献できる。また、全身性エリテマトーデス以外の自己免疫疾患の症例対照研究にも活用できる。

研究分担者

日浅 陽一
愛媛大学大学院医学研究科消化器・内分泌
・代謝内科学
教授
古川 慎哉
愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学

准教授

田中 景子
愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学
講師
永田 知里
岐阜大学大学院医学研究科疫学・予防医学
教授

横山 徹爾
国立保健医療科学院生涯健康研究部
部長
安藤 朗
滋賀医科大学消化器・血液内科
教授

A．研究目的

潰瘍性大腸炎は全特定疾患の中で最も医療受給者証所持者数が多い。平成 26 年度には 170,781 名の医療受給者証所持者数となったが、疫学的には稀な疾患であり、コホート研究よりも症例対照研究によりリスク要因を評価することが合理的である。

国外の研究では一定数の症例対照研究が実施され、潰瘍性大腸炎と関連するいくつかの環境要因 (Clin Epidemiol 2013; 5: 237-247) と遺伝要因 (Ann Gastroenterol 2014; 27: 294-303) が報告されているが、未だ確立したエビデンスは得られていない。国内ではこれまで 2 つの症例対照研究が実施されたが、遺伝情報が収集されていないだけでなく、症例群の総数がそれぞれ 131 名と 126 名であった (Inflamm Bowel Dis 2005; 11: 154-163, PLoS One 2014; 9: e110270)。また、それぞれの症例対照研究で原著論文が 1 編ずつ報告されている。

本研究では、栄養摂取や喫煙曝露等の生活環境、生活習慣に関する情報を詳細に収集し、遺伝情報も収集することで、環境要因及び遺伝要因と潰瘍性大腸炎リスクとの関連、さらには、遺伝要因と環境要因の交互作用を評価することを目的とする。

症例対照研究で最も力を入れるべきポイントは対照群のリクルートである。また、症例群、対照群に関わらず、リクルートにおける臨床の先生方の負担を可能な限り軽減することも重要である。今回、症例群 400 名と対照群 800 名を目標とした症例対照研究のリクルートが完了した。

全身性エリテマトーデスの平成 26 年度における医療受給者証所持者数は 63,622 名である。全身性エリテマトーデスのリスク要因に関するエビデンスは国際的にも乏しい。環境要因、遺伝要因ともに質の高い日本人のエビデンスも非常に少なく、リスク要因及び予防要因解明のため、エビデンスを蓄積していく必要がある。過去に難病の疫学研究班が中心となって、症例対照研究が実施され、幾つ

かのエビデンスが創出されている¹⁻⁹⁾。しかしながら、リスク要因及び予防要因に関するエビデンスを確立するためには、さらに日本人のエビデンスを蓄積する必要がある。今後、全身性エリテマトーデスの症例対照研究を実施するために、半定量食事摂取頻度調査票以外の環境要因に関する質問調査票を開発した。

B．研究方法

1．潰瘍性大腸炎の症例対照研究

当初、症例群は 80 歳未満で潰瘍性大腸炎の診断から 1 年未満とした。対象者数を増やす目的で、平成 28 年 6 月より潰瘍性大腸炎の診断後 4 年未満に変更した。

対照群は病院対照とした。症例群 1 名につき、2 名の対照群を選定することとした。当初、5 歳階級別に年齢、性別、医療機関をマッチさせ、潰瘍性大腸炎或いはクローン病と診断されておらず、下痢や腹痛の症状のない外来或いは入院患者とした。一方、危機管理の観点で、当初より以下の状況を考慮した。対照群を選定できない協力医療機関が出現した場合は、別の特定の医療機関で年齢と性別をマッチさせた対照群を選定することとした。さらには、研究の進行上、マッチングを行うことが困難な状況になった場合は、厳密なマッチングにこだわらず、対照群の人数確保に重点を置くことも計画した。

症例群 400 例、対照群 800 例を目標として症例対照研究を実施した。

研究期間として、

(登録期間)研究許可日～平成 29 年 3 月末(平成 30 年 3 月末まで延長する可能性がある)とし、最終的に症例群については平成 29 年 9 月末までリクルートを行った。対照群は平成 29 年 12 月末までリクルートを行った。

(解析期間)登録終了から 15 年としている。

69 医療機関が症例群のリクルートの協力を申し出たが、最終的に 52 医療機関で症例群のリクルートを行った。

研究協力医療機関においては、原則症例群のみリクルートした。臨床の先生方の負担を軽減するため、本研究の概要を症例群候補者の患者に紹介頂くと同時に、研究内容の詳細な説明は、後日、愛媛大学研究事務局より、電話で行う旨、説明して頂いた。その際、個人情報提供に関する同意書に署名を頂いた。担当医は患者シートに当該患者の投薬及び重症度に関する情報を記入し、署名済み個人情報提供同意書とともに愛媛大学研究事務局に

郵送した。その情報に従い、愛媛大学研究事務局より電話で詳細な説明を行い、最終的な同意を得た。研究事務局より質問調査票と遺伝子検体（口腔粘膜細胞）採取の綿棒を対象者の自宅に送付した。対象者は回答済み質問調査票と検体を事務局に送付した。記入漏れ等は対象者と事務局間で確認を行った。

対照群については、性別と年齢（5歳階級）をマッチさせて愛媛大学医学部附属病院や関連の医療機関でリクルートを行った。

半定量食事摂取頻度調査票および本研究用に開発した生活習慣、生活環境、既往歴、家族歴等に関する質問票調査（家族構成、家族との人間関係、職業、職業曝露、学歴、年収、喫煙、居住環境、身体活動、睡眠、母乳摂取歴、飲酒歴、感染症や生活習慣病、虫垂切除などの手術歴などの既往歴と家族歴、薬剤使用状況、便秘、口腔衛生、アレルギー、うつ症状、過去1年ライフイベント、ストレス等に関する質問を含む）を用いる。症例群においては、医師が記入する使用薬物、重症度に関する患者シートを使用して情報を得た。

生体試料については、対象者自身により検査用綿棒を用いて口腔粘膜細胞検体を採取した。

（倫理面への配慮）

個人情報提供同意書及び最終的な研究参加の同意書の2つの文書に署名による同意を得た。平成27年5月25日に愛媛大学医学部臨床研究倫理審査委員会、平成27年6月24日に愛媛大学大学院医学研究科ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理委員会の承認を得た。各協力医療機関の倫理審査委員会の承認を得た。

2. 全身性エリテマトーデスの症例対照研究実施に向けた質問調査票開発

全身性エリテマトーデスと関連する環境要因について、メタ・アナリシスが存在する場合、その結果をまとめた。メタ・アナリシがない場合、代表的な結果をまとめた。

このように作成されたエビデンステーブルとこれまで使用してきた質問調査票にもとづき、作成した。

C. 研究結果

1. 潰瘍性大腸炎の症例対照研究

症例群については、52機関から446名の個人情報の提供に関する同意を取得した。しかしながら、詳細な説明を受けた後、研究参加を辞退した方、或いは一旦研究参加に同意し

たものの後日、同意撤回の申し出を受けた方が62名となった。最終的に症例群として384名が研究に参加した。対照群は愛媛大学及び関連病院から666名が研究に参加した。

2. 全身性エリテマトーデスの症例対照研究実施に向けた質問調査票開発

1) 喫煙

2015年に公表されたメタアナリシスには11の症例対照研究と2つのコホート研究が含まれた。尚、11症例対照研究のうち、3症例対照研究はわが国の研究である。非喫煙に対する現在喫煙の pooled odds ratio (OR)は1.56 (95% CI: 1.26-1.95)であり、統計学的に有意な正の関連を認めた¹⁰⁾。

2) ホルモン補充療法と経口避妊薬

2014年に公表されたメタアナリシスにおいて、2つのコホート研究を統合したホルモン補充療法の pooled rate ratio (RR)は1.96 (95% CI: 1.51-2.56)であり、統計学的に有意な正の関連を認めた¹¹⁾。4つの症例対照研究を統合した経口避妊薬の pooled RR は1.44 (95% CI: 1.00-2.08)と統計学的に有意にリスクを高めた¹¹⁾。

3) 適度な飲酒

2008年の6症例対照研究と1つのコホート研究によるメタアナリシスによると、適度な飲酒による pooled OR は0.72 (95% CI: 0.55-0.95)であり、統計学的に有意に予防的であった¹²⁾。

4) その他

アメリカの Nurses' Health Study によると、出生時過体重と早産がリスクを高めた¹³⁾。鷲尾らの症例対照研究では、ストレス⁷⁾と手術歴⁹⁾がリスクを高め、3人以上の子どもがいること⁹⁾が予防的であった。

5) 質問調査票の開発

家族状況、居住状況、出生・乳幼児期状況、体格、職業、職業曝露、喫煙、受動喫煙、食行動、飲酒、居住環境、運動、睡眠、口腔状況、うつ症状、内服状況、既往歴、家族歴、ストレス状況、学歴、年収、生理状況等に関する質問を含んだ30ページから成る質問調査票を開発した。

栄養については、別途、妥当性の検証された半定量食事摂取頻度調査票を活用する。

D . 考察

1 . 潰瘍性大腸炎の症例対照研究

一般的な多施設共同研究では、各医療機関でインフォームド・コンセントの取得、質問調査票や生体試料のデータ取得を実施する必要があり、臨床の先生方の負担が多い。本研究では、症例群の基準を満たす症例群の候補者に、簡単な研究の説明の後、愛媛大学研究事務局に個人情報を提供する同意を取得し、患者シートに投薬状況と重症度を記載して研究事務局に送付するという、臨床医にとって負担の少ないリクルートの運営方法を採用した。

対照群のリクルートについては、本来、各研究協力医療機関において症例群 1 名につき、1~4 名の対照群を選定すべきである。しかしながら、各研究協力医療機関で対照群をリクルートすることは非常に困難であったため、基本的に愛媛大学医学部附属病院及び関連の医療機関で対照群をリクルートすることにした。これは重大な方法論的欠点であるため、この欠点を十分に認識して論文を執筆する必要がある。

2 . 全身性エリテマトーデスの症例対照研究 実施に向けた質問調査票開発

半定量食事摂取頻度調査票を含めると約 50 ページから成る質問調査票で情報を得ることになる。

E . 結論

1 . 潰瘍性大腸炎の症例対照研究

症例群 400 名と対照群 800 名を目標としたが、最終的に症例群 384 名と対照群 666 名が研究に参加した。本邦では、過去最大の規模であり、遺伝情報も収集し、厚生行政に資するデータを集めることができた。今後、このデータを活用することで、本邦における潰瘍性大腸炎の一次予防に資する数多くのエビデンスを創出できる。

2 . 全身性エリテマトーデスの症例対照研究 実施に向けた質問調査票開発

全身性エリテマトーデスの症例対照研究用の質問調査票を開発した。環境要因と全身性エリテマトーデスのリスクとの関連に関する数多くのエビデンスの創出に大きく貢献できる。また、全身性エリテマトーデス以外の自己免疫疾患の症例対照研究にも活用できる。

文献

1. Washio M, Horiuchi T, Kiyohara C, et al. Smoking, drinking, sleeping habits, and other lifestyle factors and the risk of systemic lupus erythematosus in Japanese females: findings from the KYSS study. *Mod Rheumatol*. 2006; 16: 143-150.
2. Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, et al. Cigarette smoking, N-acetyltransferase 2 polymorphisms and systemic lupus erythematosus in a Japanese population. *Lupus*. 2009; 18: 630-638.
3. Horiuchi T, Washio M, Kiyohara C, et al. Combination of TNF-RII, CYP1A1 and GSTM1 polymorphisms and the risk of Japanese SLE: findings from the KYSS study. *Rheumatology (Oxford)*. 2009; 48: 1045-1049.
4. Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, et al. Cigarette smoking, STAT4 and TNFRSF1B polymorphisms, and systemic lupus erythematosus in a Japanese population. *J Rheumatol*. 2009; 36: 2195-2203.
5. Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, et al. Risk modification by CYP1A1 and GSTM1 polymorphisms in the association of cigarette smoking and systemic lupus erythematosus in a Japanese population. *Scand J Rheumatol*. 2012; 41: 103-109.
6. Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, et al. Cigarette smoking, alcohol consumption, and risk of systemic lupus erythematosus: a case-control study in a Japanese population. *J Rheumatol*. 2012; 39: 1363-1370.
7. Takahashi H, Washio M, Kiyohara C, et al. Psychological stress in a Japanese population with systemic lupus erythematosus: finding from KYSS study. *Mod Rheumatol*. 2014; 24: 448-452.
8. Kiyohara C, Washio M, Horiuchi T, et al. Modifying effect of N-acetyltransferase 2 genotype on the association between systemic lupus erythematosus and consumption of alcohol and caffeine-rich beverages. *Arthritis Care Res (Hoboken)*. 2014; 66: 1048-1056.
9. Washio M, Takahashi H, Kobashi G, et al. Risk factors for development of systemic lupus erythematosus among Japanese

- females: medical history and reproductive factors. *Int J Rheum Dis.* 2017; 20: 76-83.
10. Jiang F, Li S, Jia C. Smoking and the risk of systemic lupus erythematosus: an updated systematic review and cumulative meta-analysis. *Clin Rheumatol.* 2015; 34: 1885-1892.
 11. Rojas-Villarraga A, Torres-Gonzalez JV, Ruiz-Sternberg AM. Safety of hormonal replacement therapy and oral contraceptives in systemic lupus erythematosus: a systematic review and meta-analysis. *PLoS One.* 2014; 9: e104303.
 12. Wang J, Pan HF, Ye DQ, et al. Moderate alcohol drinking might be protective for systemic lupus erythematosus: a systematic review and meta-analysis. *Clin Rheumatol.* 2008; 27: 1557-1563.
 13. Simard JF, Karlson EW, Costenbader KH, et al. Perinatal factors and adult-onset lupus. *Arthritis Rheum.* 2008; 59: 1155-1161.

F . 健康危険情報

なし

G . 研究発表

1 . 論文発表

1. Miyake Y, Tanaka K, Fukushima W, Kiyohara C, Sasaki S, Tsuboi Y, Oeda T, Shimada H, Kawamura N, Sakae N, Fukuyama H, Hirota Y, Nagai M, Nakamura

Y, Fukuoka Kinki Parkinson's Disease Study Group. *PARK16* polymorphisms, interaction with smoking, and sporadic Parkinson's disease in Japan. *J Neurol Sci.* 2016; 362: 47-52.

2. Tanaka K, Miyake Y, Fukushima W, Kiyohara C, Sasaki S, Tsuboi Y, Oeda T, Shimada H, Kawamura N, Sakae N, Fukuyama H, Hirota Y, Nagai M, Nakamura Y, Fukuoka Kinki Parkinson's Disease Study Group. Vitamin D receptor gene polymorphisms, smoking, and risk of sporadic Parkinson's disease in Japan. *Neurosci Lett.* 2017; 643: 97-102.
3. 三宅吉博. 自己免疫疾患の発症関連環境要因. *医学のあゆみ.* 2016; 258: 905-908.

2 . 学会発表

なし

H . 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1 . 特許取得

なし

2 . 実用新案登録

なし

3 . その他

なし

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

1. 研究の名称

日本潰瘍性大腸炎研究 (Japan Ulcerative Colitis Study)

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業の研究課題名：
潰瘍性大腸炎の発症関連及び予防要因解明を目的とした症例対照研究

2. 研究の実施体制

本研究の統括機関は愛媛大学である。本研究に、研究代表者をおき、研究全体を統括する。

研究代表者（統括責任者）：

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座 教授 三宅吉博

研究分担者：

愛媛大学大学院医学系研究科消化器・内分泌代謝内科学	教授	日浅陽一
医療機関等の調整および調査項目の統括		
愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座	准教授	古川慎哉
医療機関等の調整等統括		
愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座	助教	田中景子
研究事務局運営、研究対象者対応等統括		
岐阜大学大学院医学系研究科疫学・予防医学分野	教授	永田知里
栄養疫学の統括		
国立保健医療科学院生涯健康研究部	部長	横山徹爾
統計解析の統括		

研究協力者：

1. 愛媛県立新居浜病院内科 医監内科部長 芝田直純
2. 愛媛県立中央病院消化器内科 部長 二宮朋之
3. 愛媛大学医学部附属病院光学医療診療部 准教授 池田宜央
4. 浦岡胃腸クリニック 院長 浦岡正義
5. 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器・肝臓内科学 教授 岡田裕之
6. 香川県立中央病院消化器内科 院長補佐(診療科長) 稲葉知己
7. 香川大学医学部消化器・神経内科学 教授 正木勉
8. 金沢大学大学院医学系研究科恒常性制御学 教授 金子周一
9. 京都大学医学部附属病院内視鏡部 部長 仲瀬裕志
10. 慶応義塾大学医学部内科学教室消化器内科 教授 金井隆典

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

11. 済生会松山病院内科 主任部長 村上英広
12. 滋賀医科大学消化器・血液内科 教授 安藤朗
13. 島根大学医学部第二内科 教授 木下芳一
14. 市立宇和島病院消化器内科 部長 岡本傳男
15. 近森病院消化器内科 主任部長 栄枝弘司
16. 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科消化器病態学分野
教授 渡辺守
17. 東京山手メディカルセンター消化器内科(炎症性腸疾患センター)
部長 吉村直樹
18. 兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門 教授 中村志郎
19. 広島大学大学院医歯薬保健学研究科内視鏡医学 教授 田中信治
20. 福井大学医学部第二内科 教授 中本安成
21. 福岡大学筑紫病院消化器内科 教授 松井敏幸
22. 防衛医科大学校消化器内科 教授 穂苅量太
23. 北海道厚生農業協同組合連合会札幌厚生病院
副院長兼 IBD センター長 本谷聡
24. 北海道大学大学院医学研究科内科学講座消化器内科学分野 教授 坂本直哉
25. 松山市民病院 副院長兼消化器内科部長 水上祐治
26. 宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野 教授 下田和哉
27. 山形大学医学部内科学第二講座 教授 上野義之
28. 山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学 教授 坂井田功
29. 横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患(IBD)センター
担当部長 国崎玲子
30. 住友別子病院 理事長 鈴木誠祐
31. 三豊総合病院消化器内科 医長 安原ひさ恵
32. 村上記念病院内科 院長 村上匡人
33. 浜松南病院消化器病・IBDセンター センター長 花井洋行
34. 東近江総合医療センター消化器内科 副院長 辻川知之
35. 須崎くろしお病院内科 医師 一森俊樹
36. 浦添総合病院消化器病センター 顧問 金城福則
37. 大阪医科大学第二内科 教授 樋口和秀
38. 関西医科大学医学部内科学第三講座 教授 岡崎和一
39. 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野 教授 寺井崇二
40. 札幌医科大学医学部消化器・免疫・リウマチ内科学講座 教授 仲瀬裕志
41. 弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座 教授 福田眞作
42. 北里大学医学部消化器内科学 主任教授 小泉和三郎

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

43. 東大和病院 内視鏡センター長 横山潔
44. 宇和島市立津島病院 院長 玉井正健
45. NTT 西日本松山病院 内科部長 中村早苗
46. 大洲中央病院 院長 大久保啓二
47. 済生会今治病院 内視鏡センター長 川崎敬太郎
48. 済生会西条病院 院長 岡田眞一
49. 市立大洲病院 内科部長 今峰聡
50. 瀬戸内海病院 院長 小堀陽一郎
51. こうちクリニック胃腸科・内科 院長 矢野哲也
52. 公益財団法人化学療法研究会化学療法研究所附属病院 内視鏡部副部長・国際医療福祉大学臨床医学研究センター 准教授 安積貴年
53. 矢野内科 院長 矢野誠
54. 釧路労災病院 内科部長 高橋一宏
55. 西条市立周桑病院 内科診療部長 藤澤友樹
56. 秋山クリニック 院長 秋山弘彦
57. かとう歯科 理事長 加藤弘正
58. 川崎医科大学消化管内科学 教授 塩谷昭子
59. 高松赤十字病院 消化器科部長 柴峠光成
60. HITO 病院 内科部長 扇喜真紀
61. 福山医療センター 消化器内科医長・内視鏡センター長 豊川達也
62. 徳島大学大学院医歯薬学研究部地域総合医療学 特任教授 岡久稔也
63. 愛媛大学大学院医学系研究科地域医療学講座 教授 川本龍一
64. 徳山中央病院 副院長 斎藤満
65. ふるかわ内科クリニック 院長 古川恵理
66. 西川内科・消化器クリニック 院長 西川芳之
67. 大橋胃腸肛門科外科医院 副院長 大橋勝久
68. 石川クリニック 院長 石川直人
69. 杏林大学医学部附属病院消化器内科 教授 久松理一
70. クリニック池田 院長 池田宣聖
71. おおぞら病院 院長 吉田直彦
72. たかさきクリニック胃腸科・内科 院長 高崎元宏
73. 愛媛県立南宇和病院 内科副医長 川上貴正
74. 東海大学医学部附属八王子病院 消化器内科 渡辺勲史
75. 渡辺病院 病院長 渡辺英生

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

研究事務局：

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座内に設置する。

3. 研究の目的及び意義

本邦では、潰瘍性大腸炎の特定疾患医療受給者証所持者数は、平成元年に20,813名であったが、平成25年度には155,116名と顕著に増加し、今や潰瘍性大腸炎は全特定疾患の中で最も医療受給者証所持者数が多い。潰瘍性大腸炎の罹患率や有病率は世界的にも増加しており、潰瘍性大腸炎の発症関連要因及び予防要因を解明し、発症を抑制する保健的介入方法を確立することは喫緊の課題である。

国外の研究で潰瘍性大腸炎と関連するいくつかの環境要因と遺伝要因が報告されているが、未だエビデンスが十分に蓄積されていない。国内ではこれまで2つの症例対照研究が実施されたが、遺伝情報が収集されておらず、現時点で栄養に関する2原著論文が報告されているのみである。

生活習慣や生活環境、さらには遺伝子多型の頻度の違いから、欧米の疫学研究で得られたエビデンスを安易に日本人に適用することはできない。日本人を対象とした疫学研究で得られたエビデンスを活用することで、日本人のための潰瘍性大腸炎の予防方法を体系的に開発できる可能性が高まる。

このような予防方法を確立するためには、地道ではあるが疫学的なエビデンスを一つ一つ蓄積する以外に方法はない。

本研究では、栄養摂取や喫煙曝露等の生活環境、生活習慣に関する情報を詳細に収集し、遺伝情報も収集することで、環境要因及び遺伝要因と潰瘍性大腸炎リスクとの関連、さらには、遺伝要因と環境要因の交互作用を評価することができる。遺伝要因と環境要因の交互作用が明らかになれば、日本人において、オーダーメイドにより潰瘍性大腸炎を予防するエビデンスの確立に向け、極めて価値ある貢献をすることができる。

4. 研究の方法及び期間、及び

5. 研究対象者の選定方針

研究デザイン：

症例対照研究

対象地域：

日本

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

予定対象者数及び設定根拠：

症例群 400 例、対照群 800 例を目標とすることで、十分な統計学的パワーが期待される。

対象者の定義（適格基準）：

症例群：

80 歳未満で、本研究協力医療機関の消化器専門医による潰瘍性大腸炎の診断から 4 年未満の者。

対照群：

病院対照とする。症例群 1 名につき、2 名の対照群を選定する。5 歳階級別に年齢、性別、医療機関をマッチさせ、潰瘍性大腸炎或いはクローン病と診断されておらず、下痢や腹痛の症状のない外来或いは入院患者とする。1 名は消化器内科の患者とし、もう 1 人は消化器内科以外の科（整形外科等）を受診している者が望ましい。

危機管理の観点で、以下の状況を考慮しておく。対照群を選定できない協力医療機関が出現した場合は、別の特定の医療機関で年齢と性別をマッチさせた対照群を選定する。さらには、研究の進行上、マッチングを行うことが困難な状況になった場合は、厳密なマッチングにこだわらず、対照群の人数確保に重点を置く。ただし、このような状況とならないよう、最大限努力する。

除外基準：

質問調査票の記入などについて、本人または代諾者から同意の得られない者は、研究対象から除外する。

研究期間：

（登録期間）研究許可日～平成 29 年 3 月末（平成 30 年 3 月末まで延長する可能性がある）

（解析期間）登録終了から 15 年

統計解析の方法：

多変量ロジスティック回帰分析等を用いて解析を行う。

調査内容：

半定量食事摂取頻度調査票および本研究用に開発した質問票調査（生活習慣、生活環境、既往歴、家族歴等に関する質問調査票では、家族構成、家族との人

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

間関係、職業、職業曝露、学歴、年収、喫煙、居住環境、身体活動、睡眠、母乳摂取歴、飲酒歴、感染症や生活習慣病、虫垂切除などの手術歴などの既往歴と家族歴、薬剤使用状況、便秘、口腔衛生、アレルギー、うつ症状、過去1年ライフ・イベント、ストレス等に関する質問を含む)を用いる。症例群においては、医師が記入する身体測定、使用薬物、血液所見、重症度等に関する患者シートを使用する。

生体試料の収集：

対象者自身により口腔粘膜細胞(或いは唾液)(遺伝子解析用)を採取する。

症例群のリクルート運営：

医師から対象候補者に調査協力と個人情報の研究事務局(愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座内)への提供の依頼を行う。

同意が得られれば個人情報提供同意書に署名をもらい、説明文書を手渡す。患者シートに対象者の連絡先、重症度等の情報を記入し、署名済み個人情報提供同意書と共に研究事務局に郵送する。

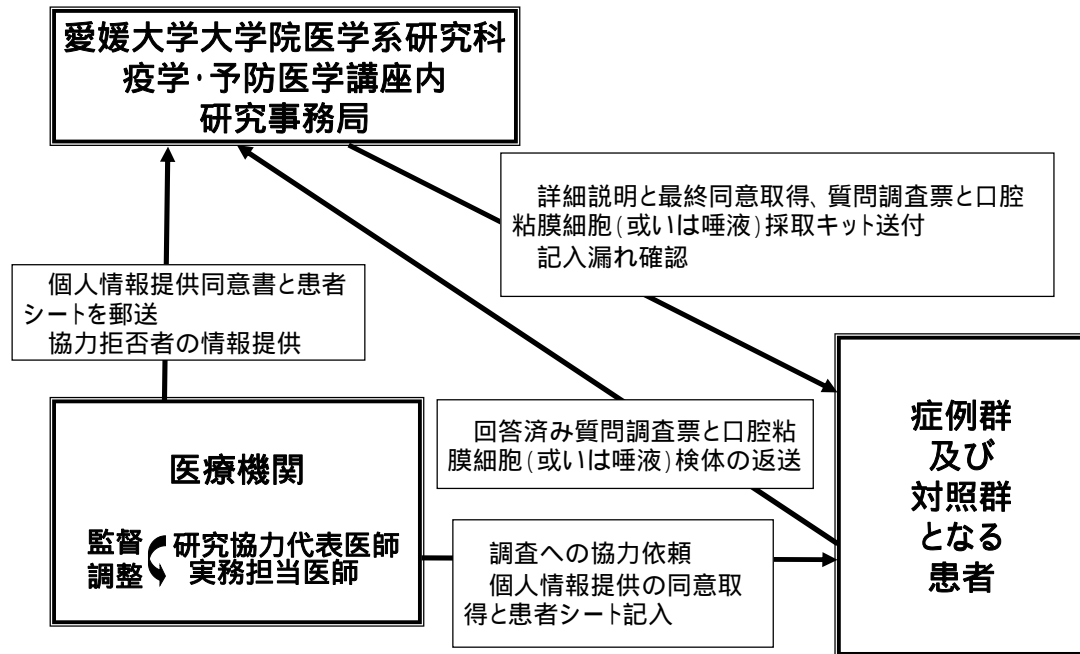
研究事務局より電話で詳細な説明をし、最終的な同意を得た場合、質問調査票と口腔粘膜細胞(或いは唾液)採取キットを研究対象者宅に送付する。

研究対象者は回答済み質問調査票と採取済み口腔粘膜細胞(或いは唾液)を研究事務局に送付する。

研究事務局は記入漏れや合理的でない回答を研究対象者に問い合わせ、すべての回答を得た後、薄謝(500円図書カード)を研究対象者に送付する。

ただし、愛媛大学内研究事務局と各医療機関との間で、スカイプなどによるビデオ通話が可能な場合、個人情報提供同意書に署名後、直ちにその場で、症例群候補者に愛媛大学研究事務局スタッフがビデオ通話で詳細説明を行い、最終同意を取得する。

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書



また、全国の潰瘍性大腸炎の患者家族会を統括する NPO 法人 IBD ネットワークを通じて本研究を広報する。本研究に参加の意思のある診断後 4 年未満の患者は研究事務局に問い合わせる。主治医に診断日、投薬状況、重症度を問い合わせ、診断後 4 年未満であると確認できた上で、最終的な同意を得た後、上記からの手順で情報を得る。

対照群のリクルート運営：

症例群より最終的な同意を得た後、研究事務局から当該症例群がリクルートされた医療機関に同意を得た事実を伝える。その際、その症例群の個人識別番号も提示する（電子メールや FAX）。医療機関では、5 歳階級別に年齢、性別をマッチさせた潰瘍性大腸炎或いはクローン病と診断されておらず、下痢や腹痛の症状のない外来或いは入院患者を消化器内科或いは他科よりリクルートする。

リクルート運営方法は症例群と同じ方法を採用するが、患者シートに、該当する症例群の個人識別番号と主病名を記載する一方、重症度等の情報は不要である。

研究拒否者の情報提供：

本研究協力機関においては、症例群及び対照群において、本研究参加に協力いただけなかった場合もしくは個人情報の愛媛大学への提供を拒否された場合、

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

患者シートに同意を得られなかった症例群及び対照群の候補者の年齢と性別を記入し、本研究事務局に知らせる（電子メールやFAX）。

6. 研究の科学的合理性についての根拠

潰瘍性大腸炎の発症と関連する環境要因及び遺伝要因、さらにはそれらの交互作用を調べることができる日本で最初の症例対照研究である。日本人におけるエビデンスを創出でき、本研究はグローバルな観点でも極めて学術的価値のある貢献をすることができる。

7. インフォームド・コンセントを受ける手続き

研究協力医療機関で、研究参加と愛媛大学への個人情報の提供に関する同意を得る。

愛媛大学内研究事務局より研究対象者に研究目的等について記載した資料を用いて電話で説明を行い、書面による同意を得る。一旦同意した場合でも、参加者が不利益を被ることなく研究参加の協力を拒否できる機会を保障する。

研究代表者と業務の範囲と責任を明らかにする契約を締結した研究事務局スタッフがインフォームド・コンセントを受けるのに必要な説明を行い、その他インフォームド・コンセントを受けるのに必要な業務を行う。

対象者が研究参加に賛意を示しているものの行為能力に制限があり、有効なインフォームド・コンセントを与えることができないと客観的に判断され、やむをえず代諾が必要な場合は、同意書署名欄の下に代諾の理由と、代諾者の研究対象者との関わりを明記する。代諾者選定の基本的考え方は、後見人や保佐人、配偶者、父母、成人の兄弟姉妹若しくは孫、同居の親族又はそれらの近親者に準ずると考えられる者とする。

未成年者の対象者については、親権者等の代諾者からインフォームド・コンセントを受ける。その際、同意書署名欄の下に代諾の理由と、代諾者の研究対象者との関わりを明記する。当該研究対象者が中学校等の課程を修了している又は16歳以上の未成年者であり、かつ、研究を実施されることに関する十分な判断能力を有すると判断されるときは、当該研究対象者からもインフォームド・コンセントを受ける。

研究対象者には同意撤回の機会を保障し、それを担保するため、研究事務局に研究対象者の問い合わせに対応する窓口を常設する。研究事務局において同意撤回内容（どの試料・情報についてどのような撤回を希望されているのか）を確認し、該当する調査資料・生体試料を廃棄する。なお、学会などで発表されたデータ、研究用のデータセットとしてすでに固定されてしまったデータなど、廃棄作業が極めて過大であったりする等の事情により破棄できないことが

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

あることを前提に同意を得ておくものとし、どのような廃棄処理を行ったかについては文書で回答する。

8. 個人情報等の取り扱い

研究事務局が収集した質問調査票、生体試料の持つ情報等の個人情報は、研究対象者に危険や不利益が及ばないように厳格に管理する。

研究の実施と運営においては、個人情報を扱うことが必須となるため、研究事務局において個人情報保護・安全管理マニュアル（ゲノム指針に準拠）を定め、研究対象者に危険・不利益が及ばないように管理を徹底する。しかし、遺伝情報は個人に固有の情報であり、いくつかの条件が揃った場合に、公開された匿名データの遺伝学的な特徴から個人を特定することが出来ないわけではない。そのことを前提に、研究において研究者が個人を特定することがないことと、遺伝情報を用いる医学研究の意義を伝え、理解を求める方針とする。

本研究で収集した全ての対象者の遺伝情報の匿名化は愛媛大学で実施する。匿名化については、愛媛大学の規定に沿って行い、個人情報は、遺伝子解析研究を行う前に、愛媛大学大学院医学系研究科医療情報学において研究対象者の氏名、生年月日等、すなわち、個人を特定することができる情報を除去する。また、連結可能匿名化においては、対応表を個人情報管理者の下で厳重に保管する。なお、研究対象者からの情報開示が求められた場合等、再連結が必要になった場合には、個人情報管理者がその正当な理由を認め再連結の求めに応じる。この場合においても、個人情報の漏洩については細心の注意を払う。

個人情報管理者に石原謙教授、個人情報分担管理者に満田憲昭教授、個人情報管理補助者に本研究代表者及び研究分担者とする。研究事務局にて付与された個人識別番号を用いて、個人情報、質問調査票、生体試料の持つ情報等及び遺伝情報が管理されている。個人情報管理責任者において、新たな符号を用いて連結可能匿名化により、個人情報を削除した質問調査票等からの情報及び遺伝情報からなるデータを作成する。

場合によっては、研究協力医療機関の倫理審査に従い、当該医療機関において、その医療機関の対象者の遺伝情報の連結可能匿名化を行う。

9. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

研究対象者の利益としては、薄謝（500円図書カード）が得られる。また、本研究への参加により、日本における環境要因と体質（遺伝要因）の双方を考慮した潰瘍性大腸炎の予防に関するエビデンスの構築に貢献することができる。

研究対象者に生じる負担として質問調査票への回答、記入漏れ等についての研究事務局からの問い合わせなどに対応するための時間を要することである。

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

遺伝子解析により、提供者が受ける不利益としては、遺伝子解析結果が外部に漏れた場合、社会における不当な差別などにつながる可能性が考えられる。しかし、潰瘍性大腸炎は単一の遺伝子の変異によって起こる疾患ではないため、遺伝子解析結果は、対象者およびその家族の疾病予防、診断、治療方針に、直ちに影響することはないと予想される。しかし、万が一の漏洩による不利益を防ぐため、個人情報、研究実施担当者に匿名化され、研究成果を公表する際には個人が特定される形では公表しないことにする。

10. 試料・情報の保管方法及び廃棄方法

調査試料は施錠可能なフリーザーで、調査情報については、電子媒体はパソコンと学内限定のネットワークで接続されているファイル共有サーバー（NAS）（外部ネットワークには接続されていない）で管理し、これらのフリーザー、パソコン及びファイル共有サーバー（NAS）は、指紋認証のある部屋に設置する。また、紙媒体は指紋認証のある部屋の施錠可能な収納庫で保管し、セキュリティ対策を万全に行う。

調査試料・情報（データ修正履歴や研究ノートを含む）は研究事務局が設置されている愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座において、登録期間終了後15年間保存する。研究者が交代した場合でも研究組織は継続的に保たれ、保存される調査試料・情報は適正に管理される。

その後については、連結可能匿名化を行った上で将来の研究のためや事後的に検証するために、研究事務局において長期間保存し活用する。

11. 研究機関の長への報告内容及び方法

研究の進捗状況や調査試料・情報の管理状況等について、愛媛大学医学部倫理審査委員会の規定に沿って、定期的に文書で報告を行う。

12. 研究の資金および利益相反について

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）による研究費で実施される。ただし、その他の公的資金や企業や財団からの寄付や契約（受託研究を含む）を活用する可能性もある。

愛媛大学では「愛媛大学大学院医学系研究科及び医学部等に係る利益相反ポリシー」を定めている。本研究はこのポリシーに基づいて実施する。企業や財団からの寄付や契約でまかなわれる場合は、愛媛大学医学部等利益相反専門委員会で審議される。

本研究に基づく発明を特許として申請する場合には、申請する発明に関与した者並びに研究代表者が共同で行う。特許の帰属に関しては、関係する研究機

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

関の規定の範囲内で、申請する発明に関与した者の間で協議し決定する。

13. 研究に関する情報公開の方法

本研究に関する成果は論文、学会発表により学術的に報告する。加えて、本研究に関するホームページを作成し、広く社会に還元する。一方、個人情報に関わることは含めない。尚、本研究は症例対照研究であるので事前に公的データベースへの登録は行わない。

14. 本研究対象者等およびその関連者からの相談等への対応

研究事務局で対応をする。(TEL: 089-960-5282; FAX: 089-960-5284; Email: epi-res@m.ehime-u.ac.jp)

15. 代諾者からのインフォームド・コンセントについて

研究参加に賛意を示しているものの行為能力に制限があり、有効なインフォームド・コンセントを与えることができないと客観的に判断され、やむをえず代諾が必要な場合は、同意書署名欄の下に代諾の理由と、代諾者の研究対象者との関わりを明記する。代諾者選定の基本的考え方は、後見人や保佐人、配偶者、父母、成人の兄弟姉妹若しくは孫、同居の親族又はそれらの近親者に準ずると考えられる者とする。

未成年者の対象者については、親権者等の代諾者からインフォームド・コンセントを受ける。

16. インフォームド・アセントについて

成人でインフォームド・コンセントを与える能力を欠くと客観的に判断される典型例として、傷病により意識不明の状態となっている患者或いは昏睡状態となっている人が考えられる。このような状態で研究に参加することは不可能である。ただし、代諾者が本研究へのインフォームド・コンセントを与える場合には理解力に応じた説明を口頭で十分に行うことを考慮する。

未成年者で、当該研究対象者が中学校等の課程を修了している又は16歳以上であり、かつ、研究を実施されることに関して、判断能力を欠くと判断される時、また、当該研究対象者が中学校等の課程を未修了であり、かつ、16歳未満の時、理解力に応じた説明を口頭で十分に行うことを考慮する。

17. 第12.5の規定について

本研究では、第12の5の規定は活用しない。

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

18. 研究対象者への経済的負担又は謝礼について

本研究対象者が本研究に参加することによる経済的負担はない。本研究参加に対する謝礼としてすべての回答が完了次第、500円図書カードを送付する。

19. 侵襲による重篤な事象の対応

本研究は生活習慣等に関する質問調査票に回答し、口腔粘膜細胞（或いは唾液）を採取するのみであるので、身体的及び精神的な「侵襲」を伴わない研究である。

20. 健康被害に対する補償

本研究では、「侵襲」を伴わないので健康被害は生じない。

21. 通常の診療を超える医療行為を伴う研究による研究実施後の医療の提供

本研究は該当しない。

22. 本研究による研究対象者および子孫への受け継がれる遺伝的特徴に関する重要な知見が得られる場合の対応

解析結果の開示に関し、対象者の希望の有無にかかわらず、研究対象者個人には通知しない。特に、本研究では遺伝子解析結果を通知・開示しない方針である。潰瘍性大腸炎は特定の遺伝子の関与の程度が明らかでない、いわゆる「遺伝病でない疾患」であり、遺伝子診断を行うことは、「本研究の目的外」ということになる。また、本研究における解析の精度及び検査結果の個人への連結性の管理については、臨床検査としての個人の診断を前提としたものではなく、精度や確実性に欠けている場合があり、そのような不確かな結果は返すべきではない。つまり、本研究で得られる個人の遺伝子解析結果は、多くの場合、その人の健康状態などを評価するための情報としての精度や信頼性に乏しいため、研究対象者に知らせるに足る十分な意義がなく、むしろ無用な混乱を招く恐れがある。また、膨大な遺伝情報を適切に開示するために、その準備と遺伝カウンセリングに多くの作業量と時間がかかるため、本来の研究の実施に著しい支障を及ぼす恐れがある。

原則的に、遺伝カウンセリングは行わないが、必要な場合には、愛媛大学医学部附属病院や本研究協力医療機関など遺伝カウンセリングが受けられる施設を紹介する。

23. 本研究に関する業務の委託

本研究では、質問調査票のデータ入力業者に委託する。研究事務局と委託

日本潰瘍性大腸炎研究 研究計画書

先で情報漏えいに関する契約を結ぶ。

24. 将来の研究のため及び他の研究機関に提供する可能性

将来、試料・情報を研究に用いる場合は、改めてその研究計画を愛媛大学医学部倫理審査委員会に諮り、承認をうけた上で倫理指針を遵守し利用する。

本研究で収集され研究事務局に保管された調査資料・生体試料を本研究以外の研究に提供する場合(バンクや公的データベース登録を含む)、利用希望者(公的研究機関や企業など)は、調査資料・生体試料の具体的な利用目的と利用方法、期待される成果、研究費財源について記載した研究計画書を研究代表者に申請する。研究代表者及び研究分担者は研究計画書を科学性と倫理性の面から審査し、許可・不許可の決定をする。許可された研究は、愛媛大学医学部倫理審査委員会の審査を受け、承認された場合にのみ、調査資料・生体試料の提供を行う。

25. モニタリングおよび監査の実施について

本研究は症例対照研究であり、モニタリングおよび監査は実施しない。しかしながら、研究代表者と研究分担者は常日頃、適正な研究運営に細心の注意を払う。

2015年4月16日第1版
2015年6月25日第2版
2015年8月6日第3版
2015年9月16日第4版
2015年11月10日第5版
2016年2月2日第6版
2016年3月12日第7版
2016年6月11日第8版
2016年6月29日第9版
2016年8月2日第10版
2016年9月16日第11版
2016年10月13日第12版
2016年11月18日第13版
2016年12月19日第14版
2017年2月20日第15版

番号（記入不要）:

あなたの生活習慣と生活環境を知るための質問票 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業

この質問票は、厚生労働省の研究費により実施する自己免疫疾患の予防要因解明のための調査の一環です。調査内容は全体として統計解析に利用するだけで、個人の調査内容を公表することはありません。ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記入には、太い黒の鉛筆を使ってください。

氏名（ふりがな）	（ ）		
生年月日（年齢）	平成 昭和	年	月 日（ ）歳
性別	男・女	血液型	A型・B型・O型・AB型・わからない
住所	〒		
自宅電話番号	-	-	
携帯電話番号	-	-	

今日（この質問票に答える日）の日付を記入してください。

平成 年 月 日

「記入もれ」がないように、十分注意をしてください。
記入方法がわからないところは、空白のままにしておいてください。
後日、改めてこちらからお電話にて確認させていただきます。

お問い合わせ先

〒791-0295

愛媛県東温市志津川

愛媛大学大学院医学系研究科疫学・予防医学講座内 疫学研究事務局

TEL: 089-960-5282

FAX: 089-960-5284

メール: epi-res@m.ehime-u.ac.jp

該当する答えの番号を で囲み、()の中に記入してください。

[1]あなたの家族についておたずねします。

- あなたには血のつながった兄弟は何人いますか。すでに亡くなられた方も含みます。

兄()人 姉()人 弟()人 妹()人

いない場合は、0(ゼロ)とご記入下さい。

- 現在の婚姻状況についておたずねします。

1. 未婚 2. 結婚・再婚・内縁 3. 離婚
4. 死別 5. その他()

- 子供さんはいますか。

1. いない
2. いる



- 何人いますか。 男()人、女()人
- 一人目のお子さんを産んだ時、あなたは何歳でしたか。
()歳の時
- 二人以上のお子さんがいらっしゃる方におたずねします。
最後のお子さんを産んだ時、あなたは何歳でしたか。
()歳の時
- 女性のみにおたずねします。
一人目のお子さんを産んだ後、生後何ヶ月まで授乳しましたか。
()ヶ月まで
最後のお子さんを産んだ後、生後何ヶ月まで授乳しましたか。
()ヶ月まで
授乳していない場合は、0(ゼロ)とご記入下さい。

[2]どこで生まれましたか。また何歳までそこに住んでいましたか。

()都・道・府・県()市・郡・町・村に
生まれてから()歳まで住んでいた

[3]今までで最も長く住んだ市町村はどこですか。また何歳から何歳まで住みましたか。

()都・道・府・県()市・郡・町・村に
()歳から()歳まで合計()年間住んだ

現在も住んでいる場合は、現在の年齢をご記入ください。

[4]現在、ひとり暮らしですか。

1. はい
2. いいえ



- どなたと一緒に住みますか。同居している全ての人にをつけてください。
1. 両親 2. 兄弟・姉妹 3. 配偶者
4. 子供 5. その他(具体的に)
- あなたも含めて、現在の同居人数は何人ですか。
()名

[5]これまで、海外で生活したことがありますか(旅行などの短期滞在は除きます)。

1. いいえ

2. はい →

● 時期、期間、国名を教えてください。

年齢	期間	国名
()歳～()歳	合計()年()ヶ月	
()歳～()歳	合計()年()ヶ月	
()歳～()歳	合計()年()ヶ月	

期間が1年未満の場合、年のところに0(ゼロ)とご記入ください。

[6]あなたが生まれたときについておたずねします。

● いずれの分娩で生まれましたか。

1. 自然分娩 2. 吸引分娩 3. 鉗子分娩 4. 帝王切開

● 早産(妊娠37週未満)で生まれましたか。 1. いいえ 2. はい

● 生まれたときの体重はどれくらいでしたか。

1. 1500g未満 2. 1500g～2500g未満 3. 2500g～3000g未満
4. 3000g～4000g未満 5. 4000g以上

[7]あなたは母乳で育ちましたか。

1. いいえ

2. はい →

● いつまで母乳を飲んでいましたか。

1. 6ヶ月未満
2. 6ヶ月～1歳未満
3. 1歳以降

[8]あなたは、保育園や託児所、幼稚園に定期的に通っていましたか。

1. いいえ

2. はい →

● ()歳から()歳まで、合計約()年間通っていた

[9]体格についておたずねします。

- 現在の身長はどれくらいですか。 () cm
● 現在の体重はどれくらいですか。 () kg
● 5年前の体重はどれくらいでしたか。 () kg
● 10年前の体重はどれくらいでしたか。 () kg
● いちばん体重が重かったときはどれくらいでしたか。また、それは何歳くらいの時ですか。

女性の方で妊娠による体重増加は除きます

() kgで()歳くらいのとき

20歳以上の方のみお答えください

- 20歳頃の体重はどれくらいでしたか。 () kg
● 20歳以降で、いちばん体重が軽かったときはどれくらいでしたか。また、それは何歳くらいの時ですか。

() kgで()歳くらいのとき

[10]あなたの最近1年間の職業についておたずねします。最近1年間就業していましたか。

1. いいえ

2. はい →

● 職業をすべてご記入ください。仕事の内容がわかるように詳しくご記入ください。

業種	業務内容	役職	勤務形態	交代勤務
		1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無
		1. 管理職 2. 管理職でない	1. フル 2. パート	有・無

● 以下のそれぞれの質問に、もっとも近い回答を1つ選んで、数字を で囲んでください。

	その通り	だいたいその通り	少し違う	まったく違う
多くの反復作業をとまっていた	1	2	3	4
高度の技術が必要であった	1	2	3	4
あなた自身で多くの決断をくだすことができた	1	2	3	4
非常に多忙であった	1	2	3	4
しなければならない仕事の量が多すぎた	1	2	3	4
技術が上達した、または新しいことを学んだ	1	2	3	4
仕事のやり方を決める自由がほとんどなかった	1	2	3	4
以下は上司や同僚がいる方のみお答えください				
上司は支持的であり、必要な時には助けてくれた	1	2	3	4
上司はあなたの利益について気を配ってくれた	1	2	3	4
同僚は、親しみやすく、たよりになった	1	2	3	4

[11] あなたは畜産業に従事していましたか。

1. いいえ

2. はい →

● 家畜は何ですか。当てはまるもの全てを選んでください。また何年間従事していましたか。

1. 牛：()歳から()歳まで合計()年間

2. 豚：()歳から()歳まで合計()年間

3. 鶏：()歳から()歳まで合計()年間

4. その他(具体的に)

:()歳から()歳まで合計()年間

[12] 職業上、1週間あたり10時間以上、^{ふんじん}粉塵や有機溶媒の曝露を受けたことがありますか。

1. ない

2. ある →

● 当てはまる素材を全て選んでください。また何年間曝露を受けましたか。

1. 鉄：()歳から()歳まで合計()年間

2. 鉛：()歳から()歳まで合計()年間

3. 亜鉛：()歳から()歳まで合計()年間

4. 銅：()歳から()歳まで合計()年間

5. マグネシウム：()歳から()歳まで合計()年間

6. 水銀：()歳から()歳まで合計()年間

7. 木材：()歳から()歳まで合計()年間

8. 石炭：()歳から()歳まで合計()年間

9. 石もしくは砂：()歳から()歳まで合計()年間

10. アスベスト：()歳から()歳まで合計()年間

11. チョーク：()歳から()歳まで合計()年間

12. 有機溶媒：()歳から()歳まで合計()年間

13. その他(具体的に
：()歳から()歳まで合計()年間)

有機溶媒には、石油製品、接着剤、塗料、ドライクリーニングなどの洗浄用溶媒などがあります。

[13]あなたは職業上、殺虫剤、除草剤または除菌剤(防かび剤)を使ったことがありますか。

<p>● 殺虫剤</p> <p>1. 使っていない</p> <p>2. 使った →</p>	<p>● だいたい何年間使いましたか。 ()歳から()歳まで合計()年間</p> <p>● 1年間のうち合計すると何ヶ月くらい使っていましたか。 1年中使っていた場合は(12)ヶ月とご記入ください。 1年のうち()ヶ月くらい使っていた</p> <p>● だいたいどれくらいの頻度で使いましたか。</p> <p>1. 毎日2回以上 2. 毎日1回 3. 週4~6回</p> <p>4. 週2~3回 5. 週1回 6. 月2~3回</p> <p>7. 月1回 8. 月1回未満</p>
<p>● 除草剤</p> <p>1. 使っていない</p> <p>2. 使った →</p>	<p>● だいたい何年間使いましたか。 ()歳から()歳まで合計()年間</p> <p>● 1年間のうち合計すると何ヶ月くらい使っていましたか。 1年中使っていた場合は(12)ヶ月とご記入ください。 1年のうち()ヶ月くらい使っていた</p> <p>● だいたいどれくらいの頻度で使いましたか。</p> <p>1. 毎日2回以上 2. 毎日1回 3. 週4~6回</p> <p>4. 週2~3回 5. 週1回 6. 月2~3回</p> <p>7. 月1回 8. 月1回未満</p>
<p>● 除菌剤 (防かび剤)</p> <p>1. 使っていない</p> <p>2. 使った →</p>	<p>● だいたい何年間使いましたか。 ()歳から()歳まで合計()年間</p> <p>● 1年間のうち合計すると何ヶ月くらい使っていましたか。 1年中使っていた場合は(12)ヶ月とご記入ください。 1年のうち()ヶ月くらい使っていた</p> <p>● だいたいどれくらいの頻度で使いましたか。</p> <p>1. 毎日2回以上 2. 毎日1回 3. 週4~6回</p> <p>4. 週2~3回 5. 週1回 6. 月2~3回</p> <p>7. 月1回 8. 月1回未満</p>

[14]最近1年間で平均して、あなたは自宅で、以下の製品をどれくらいの頻度で使っていましたか。

殺虫剤	1. 毎日2回以上	2. 毎日1回	3. 週4~6回	4. 週2~3回
-----	-----------	---------	----------	----------

	5 . 週 1 回	6 . 月 2 ~ 3 回	7 . 月 1 回	8 . 月 1 回未満
除草剤	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
除菌(かび)剤	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
漂白剤	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
カーペットク リーナー	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
窓クリーナー	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
トイレクリー ナー	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
バスクリーナ ー	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
ドライクリー ニング液	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
消臭スプレー	1 . 毎日 2 回以上 5 . 週 1 回	2 . 毎日 1 回 6 . 月 2 ~ 3 回	3 . 週 4 ~ 6 回 7 . 月 1 回	4 . 週 2 ~ 3 回 8 . 月 1 回未満
芳香剤	1 . 自宅に据え置いている		2 . 使っていない	
防虫剤	1 . タンス等に据え置いている		2 . 使っていない	

[15]あなたは生まれてからこれまでに、合計して少なくとも 100 本以上のタバコ(加熱式タバコを含む)を吸っていますか。

1 . いいえ

2 . 以前、吸っていた



- () 歳から () 歳まで合計 () 年間
- 平均して 1 日に () 本吸っていた
- やめた理由は何ですか。
 - 1 . 病気をしたから
 - 2 . 病気はしないが健康に悪いから
 - 3 . その他(経済的な理由など)

3 . 現在吸っている



- () 歳から合計 () 年間
- 平均して 1 日に () 本吸っている

[16]あなたは、1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ家で生活したことがありますか。

1 . ない

2 . ある



- 定期的にタバコを吸う人といっしょに生活したのは合計 () 年間
- その人はあなたが家にいるときに平均して 1 日に () 本のタバコを吸っていた(換気扇の下含む)。
- 現在、定期的にタバコを吸う人といっしょに生活していますか。
 - 1 . はい
 - 2 . いいえ

[17]あなたは、1年以上、定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたことがありますか。

1 . ない

2. ある →

- 定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいたのは合計()年間
- その時の職場での喫煙状況についてお答え下さい。
1. 常時誰かが喫煙していた 2. 断続的に誰かが喫煙していた
- 現在、定期的にタバコを吸う人と同じ職場にいますか。
1. はい 2. いいえ

[18]食生活についておたずねします。最近5年以内に食習慣が大きく変わりましたか。

- 1. 変わらない
- 2. 1年以内が変わった →
- 3. 1～2年前に変わった →
- 4. 3～5年前に変わった →

- 変わったのはなぜですか。当てはまるものをすべて選んでください。
1. 病気になったため
2. 検査などで異常があったため
3. 健康にいいと思ったから
4. 好みが変わった
5. その他()

[19]つつい食べ過ぎてしまう方ですか。

- 1. いいえ 2. はい

[20]食べる速さはどのくらいですか。

- 1. かなり速い 2. やや速い 3. ふう 4. やや遅い 5. かなり遅い

[21]「朝食」は、どれくらいの頻度で食べますか。

- 1. 月に1回未満
- 2. 月に1～3回 →
- 3. 週に1～2回 →
- 4. 週に3～4回 →
- 5. 週に5～6回 →
- 6. 毎日食べる →

- だいたい何時頃食べますか。また、どのくらい時間をかけていますか。
午前や午後の時間ではなく24時間でご記入ください。
だいたい(:)ごろに開始し
()分くらい時間がかかる

[22]「昼食」は、どれくらいの頻度で食べますか。

- 1. 月に1回未満
- 2. 月に1～3回 →
- 3. 週に1～2回 →
- 4. 週に3～4回 →
- 5. 週に5～6回 →
- 6. 毎日食べる →

- だいたい何時頃食べますか。また、どのくらい時間をかけていますか。
午前や午後の時間ではなく24時間でご記入ください。
だいたい(:)ごろに開始し
()分くらい時間がかかる

[23]「夕食」は、どれくらいの頻度で食べますか。

- 1. 月に1回未満
- 2. 月に1～3回 →

- だいたい何時頃食べますか。また、どのくらい時間をかけ

- 3. 週に1~2回 →
- 4. 週に3~4回 →
- 5. 週に5~6回 →
- 6. 毎日食べる →

ていますか。
 午前や午後の時間ではなく 24 時間でご記入ください。
 だいたい (:) ごろに開始し
 () 分くらい時間がかかる

[24] あなたは、現在、少量(ビールコップ1杯程度)の飲酒で、すぐ顔が赤くなる体質がありますか。

- 1. いいえ
- 2. はい
- 3. わからない

[25] あなたは、飲酒を始めた頃の1~2年間は、少量(ビールコップ1杯程度)の飲酒で、すぐ顔が赤くなる体質がありましたか。

- 1. いいえ
- 2. はい
- 3. わからない

[26] 最近1年間、お酒(アルコール類)を飲む習慣がありますか。

- 1. 以前から飲まない
- 2. 現在、断酒している →
- 3. 飲んでいる

- 何歳のときに断酒しましたか。
()歳の時
- 断酒した理由は何ですか。
 - 1. 病気をしたから
 - 2. 病気はしないが健康に悪いから
 - 3. その他(経済的な理由など)

- 初めてお酒(アルコール類)を飲んだのは、何歳の頃でしたか。
()歳頃
- 最もたくさんお酒(アルコール類)を飲んでいたのは、何歳の頃でしたか。
()歳頃から()歳頃まで
- 最もたくさんお酒(アルコール類)を飲んでいた頃の、頻度をお答えください。
 - 1. 月に()日くらい
 - 2. 週に()日くらい
 - 3. 毎日
- 最もたくさんお酒(アルコール類)を飲んでいた頃、1日に飲んでいたお酒(アルコール類)の種類と量はどの位でしたか。全ての種類についてお答え下さい。

ビール(発泡酒を含む)	1. 飲まない 2. 大ビン ()本 3. 中ビン ()本 4. 小ビン ()本 5. 500ml 缶 ()本 6. 350ml 缶 ()本 7. その他 ()
日本酒	1. 飲まない 2. ()合 3. その他 ()
焼酎・泡盛	1. 飲まない

	2. 正味量で () 合 3. その他 ()
チューハイ	1. 飲まない 2. 350ml 缶 () 本 3. その他 ()
ワイン	1. 飲まない 2. ワイングラス () 杯 3. その他 ()
ウイスキー・ブランデー	1. 飲まない 2. シングルで、グラス () 杯 3. ダブルで、グラス () 杯 4. その他 ()
その他 ()	(量を詳しくお書き下さい)
その他 ()	(量を詳しくお書き下さい)

- **今までに、1日に平均して日本酒3合以上のお酒（アルコール類）を、5年以上飲む習慣がありましたか。**

1. いいえ 注意：日本酒3合とは
2. はい ビールなら 大ビン3本（約1850ml）
 焼酎なら 2合
 ウイスキーなら ダブルでグラス3杯
 ワインなら グラス4.5杯 } に相当します。

[26]で「3. 飲んでいる」と回答した人のみお答えください。

- **現在の飲酒状況についておたずねします。どのくらいの頻度で飲みますか。**

1. 月に () 日くらい
 2. 週に () 日くらい
 3. 毎日

- **現在、1日に飲むお酒（アルコール類）の種類と量はどの位ですか。全ての種類についてお答えください。**

ビール（発泡酒を含む）	1. 飲まない 2. 大ビン () 本 3. 中ビン () 本 4. 小ビン () 本 5. 500ml 缶 () 本 6. 350ml 缶 () 本 7. その他 ()
日本酒	1. 飲まない 2. () 合 3. その他 ()
焼酎・泡盛	1. 飲まない

	2. 正味量で () 合 3. その他 ()
チューハイ	1. 飲まない 2. 350ml 缶 () 本 3. その他 ()
ワイン	1. 飲まない 2. ワイングラス () 杯 3. その他 ()
ウイスキー・ブランデー	1. 飲まない 2. シングルで、グラス () 杯 3. ダブルで、グラス () 杯 4. その他 ()
その他 ()	(量を詳しくお書きください)
その他 ()	(量を詳しくお書きください)

[27] 現在住んでいる家は次のどれにあてはまりますか。

1. 一戸建て・木造系
2. 一戸建て・鉄骨系
3. 集合住宅・木造系
4. 集合住宅・鉄骨系

() 階に住んでいる
() 階に住んでいる

- だいたい築後 () 年ぐらい
- 住み始めてから () 年経過
- これまで住んでいる期間に増改築または改装を行いましたか。

1. いいえ 2. はい → だいたい () 年前に行った

[28] ご自宅では、掃除機を使って 1 週間あたりに何回掃除をしていましたか。

居間 週にだいたい () 回くらい
 寝室 週にだいたい () 回くらい

[29] ご自宅では、エアコン（冷暖房）を使用していましたか。

1. 使用していない
2. 使用していた

● エアコン使用时、どの程度、かび臭かったですか。 1. 臭くない 2. やや臭い 3. とても臭い

[30] ご自宅では、空気清浄機を使用していましたか。

1. 使用していない
2. 使用していた

[31] ご自宅では、浄水器を使用していましたか。

1. 使用していない
2. 使用していた

[32] 冬場、ご自宅での暖房のおもな燃料は何ですか。

1. おもに電気（エアコン、セラミックヒーター、電気ストーブ、電気こたつ等）
2. おもに灯油（石油ファンヒーター、石油ストーブ等）
3. おもにガス（ガスファンヒーター、ガスストーブ等）
4. その他 ()
5. 暖房器具は使用しなかった

[33] 自宅での給湯と炊事のコンロの燃料は何ですか。

- 給湯 1. ガス 2. 電気 3. その他 () 4. 無し
 炊事のコンロ 1. ガス 2. IH クッキングヒーター 3. IH 以外の電気

[34] 洗濯機についておたずねします。

- 洗濯機の機種はどれでしたか。 1. 一層式 2. 二層式 3. ドラム 4. その他
 洗濯機は 1 週間に何日くらい使っていましたか。 週に () 日くらい
 洗濯機のカビ取りは年に何回くらいしていましたか。
 しない場合は 0 (ゼロ) とご記入ください。 年に () 回くらい

[35] 最近 1 2 ヶ月のあいだで、台所にカビが生えたことがありますか。

1. ない 2. 生えたことがある

[36] 部屋の床はどれですか。一番上にあるものでお答えください。

居間

1. たたみ 2. カーペット 3. 木材 (フローリングタイプ)
 4. クッションフロア 5. ホットカーペット (毛足のあるもの)
 6. ホットカーペット (フローリングタイプ) 7. その他 ()

寝室

1. たたみ 2. カーペット 3. 木材 (フローリングタイプ)
 4. クッションフロア 5. ホットカーペット (毛足のあるもの)
 6. ホットカーペット (フローリングタイプ) 7. その他 ()

[37] 夏場の 1 ヶ月のあいだに、合計何回くらい自宅でゴキブリを見ましたか。

1. 毎日 2 回以上 2. 毎日 1 回 3. 週に 4 ~ 6 回 4. 週に 2 ~ 3 回
 5. 週に 1 回 6. 月に 2 ~ 3 回 7. 月に 1 回 8. 見なかった

[38] 自宅でペットを飼っていますか。また、どこで飼っていますか。全て選んでください。
(魚類、昆虫は含まない)

1. 飼っていない

2. 小鳥	→	1. 室内	2. 屋外
3. 猫	→	1. 室内	2. 屋外
4. 犬	→	1. 室内	2. 屋外
5. ハムスター	→	1. 室内	2. 屋外
6. その他 ()	→	1. 室内	2. 屋外

[39] 過去の「身体の動かし方」についておたずねします。以下の時期の身体の動かし方について、1 週間あたりの平均時間と、その期間について、それぞれの当てはまるところを で囲んでください。

運動をしていない場合は、「していない」の A を で囲んで下さい。

- 激しい運動やスポーツ (スイミング、エアロビクス、ランニング、ジョギング、バスケットボール等)

	1週間あたりの 平均運動時間									1年間あたりの 平均運動期間			
	していない	30分	1時間	1時間30分	2時間	3時間	4～6時間	7～10時間	11時間以上	1～3ヶ月	4～6ヶ月	7～9ヶ月	10～12ヶ月
10歳未満の頃	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
10～20歳未満の頃	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
20～30歳未満の頃	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
30歳以降	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M

→ この年齢に達していない場合は以下の質問にお進みください。

- 中等度の運動やスポーツ（早歩き、ゴルフ、バレーボール、サイクリング、ソフトボール等）

	1週間あたりの 平均運動時間									1年間あたりの 平均運動期間			
	していない	30分	1時間	1時間30分	2時間	3時間	4～6時間	7～10時間	11時間以上	1～3ヶ月	4～6ヶ月	7～9ヶ月	10～12ヶ月
10歳未満の頃	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
10～20歳未満の頃	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
20～30歳未満の頃	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
30歳以降	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M

→ この年齢に達していない場合は [40] にお進みください

[40]最近1年間の「身体の動かし方」についておたずねします。

- 最近1年間のうち、通常の時期の1日の時間の内訳を教えてください。通勤・通学、仕事、家事などの時間をすべて含めてお答えください。余暇は含めません。当てはまるところに をご記入ください。

時間の内訳 (通勤・仕事・家事などの時間)	な か っ た	1 時 間 未 満	1時間 以上 3時間 未 満	3時間 以上 5時間 未 満	5時間 以上 7時間 未 満	7時間 以上 9時間 未 満	9時間 以上 11時 間未 満	11 時 間 以 上
座っている時間	A	B	C	D	E	F	G	H
立っている時間	A	B	C	D	E	F	G	H
歩いている時間	A	B	C	D	E	F	G	H
力のいる作業をしている時間	A	B	C	D	E	F	G	H



- 5年前と比べて、これらの最近1年の運動量は、増えましたか、減りましたか。
1. 半分以上減った 2. 少し減った 3. 変わらない
4. 少し増えた 5. 倍以上増えた

- 余暇での「身体の動かし方」についておたずねします。最近1年間、次のことを行う頻度と1回あたりの時間はどのくらいでしたか。頻度と時間のそれぞれのあてはまるところを で囲んでください。

余暇での身体の動かし方	頻度						1回あたりの時間						
	行 わ な い	月 に 1 回 未 満	月 に 1 ~ 3 回	週 に 1 ~ 2 回	週 に 3 ~ 4 回	ほ ぼ 毎 日	行 わ な い	3 0 分 未 満	3 0 ~ 5 9 分	1 ~ 2 時 間 未 満	2 ~ 3 時 間 未 満	3 ~ 4 時 間 未 満	4 時 間 以 上
散歩などでゆっくり歩く	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	G
ウォーキングなど早足で歩く	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	G
ゴルフ・ゲートボール・庭いじりなどの軽・中程度の運動	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	G
テニス・ジョギング・エアロビクス・水泳などの激しい運動	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	G



- 5年前と比べて、これらの最近1年の運動量は、増えましたか、減りましたか。
1. 半分以上減った 2. 少し減った 3. 変わらない
4. 少し増えた 5. 倍以上増えた

[41]最近1ヶ月間における、あなたの通常の睡眠の習慣についておたずねします。最近1ヶ月間について大部分の日の昼と夜を考えて、できる限り正確にお答えください。

- 最近1ヶ月間において、通常何時ころ寢床につきましたか。
午前や午後の時間ではなく24時間でご記入ください。

例) 午後 1 時半は (2 3 : 3 0) です。

平日 だいたい (:) ごろ寢床についた

休日 だいたい (:) ごろ寢床についた

- 最近 1 ヶ月間において、寢床についてから眠るまでにどれくらい時間を要しましたか。

約 () 分

- 最近 1 ヶ月間において、通常何時ごろ起床しましたか。

午前や午後の時間ではなく 2 4 時間でご記入ください。

平日 だいたい (:) ごろ起床した

休日 だいたい (:) ごろ起床した

- 最近 1 ヶ月間において、実際の睡眠時間は何時間くらいでしたか。これは、あなたが寢床の中にいた時間とは異なる場合があるかもしれません。

平日 睡眠時間 1 日平均 約 () 時間 () 分

休日 睡眠時間 1 日平均 約 () 時間 () 分

- だいたい毎日昼寝をしますか。

1 . いいえ

2 . はい

- 昼寝の時間はどれくらいですか

平日 だいたい () 分くらい

休日 だいたい () 分くらい

- [42] あなたは、今までに永久歯 (親知らずを除く) を抜いたことがありますか。

1 . いいえ

2 . はい

- 現在、親知らずを除いて、上下あわせて何本、自分自身の歯がありますか。

だいたい () 本くらい

親知らずを除いて永久歯は全部で 2 8 本です。

インプラントは除きます。

- 抜いた理由は何ですか。全て選び本数をご記入ください。

1 . むし歯 → だいたい () 本くらい

2 . 歯周病 (歯槽膿漏) → だいたい () 本くらい

3 . その他 (具体的に) → だいたい () 本くらい

- [43] あなたは、現在入れ歯を使っていますか。

1 . いいえ

2 . はい

- どの部分の入れ歯ですか。また、何歳から使っていますか。全て選んでください。

1 . 上あご (歳くらいから)

2 . 下あご (歳くらいから)

- [44] あなたは、今までにインプラント (人工歯根) の治療を受けたことがありますか。

1 . いいえ

2 . はい

- 最初に治療を受けたのはいつですか。

昭和 () 年 () 月頃
平成

● 今までに上下あわせて何本のインプラント治療を受けましたか。
()本

[45]あなたは、毎日、歯をみがきますか。

- 1. いいえ
- 2. はい

● 1日に何回、歯をみがきますか。
だいたい1日に()回くらい

[46]この1週間の、あなたのからだや心の状態についてお聞きいたします。下の20の文章を読んで下さい。各々のことがらについて

- もしこの1週間で全くないか、あったとしても1日も続かない場合は [A]
- 週のうち1～2日なら [B]
- 週のうち3～4日なら [C]
- 週のうち5日以上なら [D]

のところを でかこんで下さい。

	この一週間のうちで			
	ない	1-2日	3-4日	5日以上
1. 普段は何でもないことがわずらわしい。	A	B	C	D
2. 食べたくない。食欲が落ちた。	A	B	C	D
3. 家族や友達からはげましをもらっても、気分が晴れない。	A	B	C	D
4. 他の人と同じ程度には、能力があると思う。	A	B	C	D
5. 物事に集中できない。	A	B	C	D
6. ゆうつだ。	A	B	C	D
7. 何をするのも面倒だ。	A	B	C	D
8. これから先のことについて積極的に考えることができる。	A	B	C	D
9. 過去のことについてくよくよ考える。	A	B	C	D
10. 何か恐ろしい気持ちがある。	A	B	C	D
11. なかなか眠れない。	A	B	C	D
12. 生活について不満なく過ごせる。	A	B	C	D
13. ふだんより口数が少ない。口が重い。	A	B	C	D
14. 一人ぼっちでさびしい。	A	B	C	D
15. 皆がよそよそしいと思う。	A	B	C	D
16. 毎日が楽しい。	A	B	C	D
17. 急に泣き出すことがある。	A	B	C	D
18. 悲しいと感じる。	A	B	C	D
19. 皆が自分をきらっていると感じる。	A	B	C	D
20. 仕事が手につかない。	A	B	C	D

[47]現在、医師から処方されて定期的に服用している薬はありますか。

- 1. いいえ
- 2. はい

● 服用している薬を全て選んでください。何歳から服用していますか。
 1. 高血圧の薬()歳から
 2. 糖尿病の薬()歳から
 3. コレステロールを下げる薬()歳から

()回
● 最後になったのはいつですか。
()歳の時
● 今まで、どんな食べ物で起こりましたか。全て選んでください。
1. 卵 2. 牛乳および乳製品 3. 鶏肉
4. 牛肉 5. 豚肉 6. 魚
7. 魚卵 8. 甲殻類
9. 大豆製品(豆腐、納豆など) 10. 小麦
11. 米 12. そば 13. 落花生(ピーナッツ)
14. その他()

[54]あなたは、医師から薬物アレルギーと言われたことがありますか。

1. ない
2. ある



● 初めて言われたのはいつですか。 ()歳の時
● 今まで2回以上、薬物アレルギーになりましたか。
1. いいえ
2. はい →
● 今まで何回、薬物アレルギーになりましたか。
()回
● 最後になったのはいつですか。
()歳の時
● 今まで、どんな薬で起こりましたか。薬の名前を全てご記入ください。
() ()
() ()
() ()

[55]あなたは、今までに医師から次の病気があると言われたことがありますか。あてはまるところを
で囲んでください。また、はじめて病気があると言われたのは何歳のときですか。

胃がん	ない・ある()歳の時)
大腸がん	ない・ある()歳の時)
肺がん	ない・ある()歳の時)
肝がん	ない・ある()歳の時)
膵がん	ない・ある()歳の時)
乳がん	ない・ある()歳の時)
子宮がん	ない・ある()歳の時)
前立腺がん	ない・ある()歳の時)
その他のがん (病名)	ない・ある()歳の時)
心筋梗塞	ない・ある()歳の時)
狭心症	ない・ある()歳の時)

高尿酸血症・痛風	ない・ある()歳の時)
慢性胃炎	ない・ある()歳の時)
B型肝炎	ない・ある()歳の時)
C型肝炎	ない・ある()歳の時)
脂肪肝	ない・ある()歳の時)
慢性肝炎・肝硬変	ない・ある()歳の時)
胃ポリープ	ない・ある()歳の時)
大腸ポリープ	ない・ある()歳の時)
胃かいよう	ない・ある()歳の時)
十二指腸かいよう	ない・ある()歳の時)
慢性閉塞性肺疾患	ない・ある()歳の時)

脳出血	ない・ある(歳の時)
脳こうそく	ない・ある(歳の時)
くも膜下出血	ない・ある(歳の時)
心不全	ない・ある(歳の時)
心房細動	ない・ある(歳の時)
不整脈	ない・ある(歳の時)
心臓弁膜症	ない・ある(歳の時)
その他の心臓の病気 (病名)	ない・ある(歳の時)
腹部大動脈瘤	ない・ある(歳の時)
閉塞性動脈硬化症	ない・ある(歳の時)
深部静脈血栓症	ない・ある(歳の時)
貧血	ない・ある(歳の時)
高血圧	ない・ある(歳の時)
1型糖尿病	ない・ある(歳の時)
2型糖尿病	ない・ある(歳の時)
糖尿病性網膜症	ない・ある(歳の時)
糖尿病性腎症	ない・ある(歳の時)
糖尿病性神経障害	ない・ある(歳の時)
高コレステロール血症・脂質異常症	ない・ある(歳の時)
全身性エリテマトーデス(SLE)	ない・ある(歳の時)
睡眠時無呼吸症候群(睡眠呼吸障害)	ない・ある(歳の時)

(COPD)	
慢性気管支炎	ない・ある(歳の時)
急性肺炎	ない・ある(歳の時)
肺塞栓症	ない・ある(歳の時)
リウマチ熱・リウマチ性心疾患	ない・ある(歳の時)
甲状腺の病気	ない・ある(歳の時)
胆石	ない・ある(歳の時)
尿管結石・腎結石	ない・ある(歳の時)
慢性腎不全(腎透析を含む)	ない・ある(歳の時)
慢性腎炎	ない・ある(歳の時)
結核	ない・ある(歳の時)
関節リウマチ	ない・ある(歳の時)
白内障	ない・ある(歳の時)
緑内障	ない・ある(歳の時)
ぶどう膜炎	ない・ある(歳の時)
乾癬	ない・ある(歳の時)
天疱瘡	ない・ある(歳の時)
神経症	ない・ある(歳の時)
パーキンソン病	ない・ある(歳の時)
うつ病	ない・ある(歳の時)
前立腺肥大	ない・ある(歳の時)

[56]子供の頃に(12歳くらいまでに)医師から次の感染症の診断を受けましたか。あてはまるところを で囲んでください。また、初めて診断を受けたのはいつですか。

肺炎	ない・ある()歳の時	溶連菌感染症	ない・ある()歳の時
気管支炎	ない・ある()歳の時	ヘルパンギーナ	ない・ある()歳の時
麻疹(はしか)	ない・ある()歳の時	手足口病	ない・ある()歳の時
風疹(三日はしか)	ない・ある()歳の時	突発性発疹	ない・ある()歳の時

水痘(みずぼうそう)	ない・ある()歳の時	伝染性紅斑(りんご病)	ない・ある()歳の時
百日咳	ない・ある()歳の時	咽頭結膜炎(プール熱)	ない・ある()歳の時
結核	ない・ある()歳の時	膀胱炎	ない・ある()歳の時
中耳炎	ない・ある()歳の時	その他 ()	ない・ある()歳の時
扁桃腺炎	ない・ある()歳の時	その他 ()	ない・ある()歳の時
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	ない・ある()歳の時	その他 ()	ない・ある()歳の時

[57]あなたは、今までに輸血を受けたことがありますか。

1. いいえ 2. はい → ()歳の時)

[58]あなたは、今までに手術を受けたことがありますか。

1. いいえ
2. はい →

<ul style="list-style-type: none"> ● 全身麻酔を受けたことがありますか。 1. ない 2. ある ● これまで受けた手術を全て選んでください。 1. 卵巣切除術()歳) 2. 子宮摘出術()歳) 3. 前立腺切除術()歳) 4. 脳の手術()歳) 5. 静脈瘤の手術()歳) 6. その他() ()歳)

[59]あなたは、今までに虫垂炎(盲腸炎)になったことがありますか。

1. いいえ
2. はい →

<ul style="list-style-type: none"> ● いつになりましたか。 ()歳の時 ● どのような治療をしましたか。 1. 虫垂切除 2. 抗生剤による薬物療法 3. その他()
--

[60]あなたは、扁桃腺切除術を受けましたか。

1. いいえ
2. はい →

<ul style="list-style-type: none"> ● いつですか。 ()歳の時

[61]あなたは、今までにヘリコバクター・ピロリ菌の検査を受けたことがありますか。

1. いいえ
2. はい →

<ul style="list-style-type: none"> ● 結果はいかがでしたか。 1. 陰性

2. 陽性 →	<ul style="list-style-type: none"> ● ピロリ菌の除菌治療を受けましたか 1. いいえ 2. はい →
	<ul style="list-style-type: none"> ● 何歳の時ですか。 ()歳の時 ● 除菌は成功しましたか。 1. いいえ 2. はい

[62]あなたのご両親やご兄弟（姉妹）は、今までに次の病気と診断されたことがありますか。

- 実の父親が診断を受けた場合は [A]
- 実の母親が診断を受けた場合は [B]
- 兄弟の少なくともお一人が診断を受けた場合は [C]
- 姉妹の少なくともお一人が診断を受けた場合は [D]
- 配偶者が診断を受けた場合は [E]
- お子さんの少なくともお一人が診断を受けた場合は [F]
- 両親、兄弟姉妹、お子さんともだれも診断を受けていない場合は [G]

のところを でかこんで下さい。

病名	実父	実母	兄弟	姉妹	配偶者	子	いない
高血圧	A	B	C	D	E	F	G
脳卒中	A	B	C	D	E	F	G
狭心症・心筋梗塞	A	B	C	D	E	F	G
閉塞性動脈硬化症	A	B	C	D	E	F	G
1型糖尿病	A	B	C	D	E	F	G
2型糖尿病	A	B	C	D	E	F	G
高尿酸血症・痛風	A	B	C	D	E	F	G
高コレステロール血症・脂質異常症	A	B	C	D	E	F	G
慢性腎不全	A	B	C	D	E	F	G
慢性肝炎・肝硬変	A	B	C	D	E	F	G
胃・十二指腸潰瘍	A	B	C	D	E	F	G
認知症・アルツハイマー病	A	B	C	D	E	F	G
うつ病	A	B	C	D	E	F	G
胃がん	A	B	C	D	E	F	G
大腸がん	A	B	C	D	E	F	G
肺がん	A	B	C	D	E	F	G
肝がん	A	B	C	D	E	F	G
膵がん	A	B	C	D	E	F	G
乳がん	A	B	C	D	E	F	G
子宮がん	A	B	C	D	E	F	G
前立腺がん	A	B	C	D	E	F	G
その他のがん (病名)	A	B	C	D	E	F	G

突然死	A	B	C	D	E	F	G
大腿骨頭骨折	A	B	C	D	E	F	G
腰椎骨折	A	B	C	D	E	F	G
潰瘍性大腸炎	A	B	C	D	E	F	G

[63]次のうち、この5年間（SLE や関節リウマチ等の自己免疫疾患の方は、発症する前の5年間）経験したものは、“1.あり”に 印をつけてください。ない場合は、“2.なし”に 印をつけて下さい。

妻（夫）の死	1.あり 2.なし	職場の配置換え	1.あり 2.なし
近親者の死	1.あり 2.なし	自分自身の輝かしい成功	1.あり 2.なし
親友の死	1.あり 2.なし	労働時間や労働条件の変化	1.あり 2.なし
自分のけがや病気	1.あり 2.なし	経済状態の変化	1.あり 2.なし
家族の病気	1.あり 2.なし	100万円以上の借金	1.あり 2.なし
離婚	1.あり 2.なし	100万円未満の借金	1.あり 2.なし
夫婦の別居	1.あり 2.なし	借金やローンのトラブル	1.あり 2.なし
婚姻関係の調停	1.あり 2.なし	就学・卒業・退学	1.あり 2.なし
妻（夫）とのトラブル	1.あり 2.なし	転校	1.あり 2.なし
親戚とのトラブル	1.あり 2.なし	転居	1.あり 2.なし
結婚	1.あり 2.なし	長期休暇	1.あり 2.なし
妊娠	1.あり 2.なし	生活条件の変化	1.あり 2.なし
妻（夫）の就職や退職	1.あり 2.なし	余暇の変化	1.あり 2.なし
性生活上の問題	1.あり 2.なし	宗教活動の変化	1.あり 2.なし
新しく家族が増えた	1.あり 2.なし	社会活動の変化	1.あり 2.なし
一家団らん時の家族の数の変化	1.あり 2.なし	睡眠習慣の変化	1.あり 2.なし
息子や娘が家をでた	1.あり 2.なし	親戚づき合いの変化	1.あり 2.なし
軽度の法律違反	1.あり 2.なし	食習慣の変化	1.あり 2.なし
留置場などへの拘留	1.あり 2.なし	個人的な習慣の変化	1.あり 2.なし
退職	1.あり 2.なし	両親の離婚	1.あり 2.なし
転職	1.あり 2.なし	両親の別居	1.あり 2.なし
解雇	1.あり 2.なし	両親とのトラブル	1.あり 2.なし
仕事上の責任の変化	1.あり 2.なし	学校の先生とのトラブル	1.あり 2.なし
上司とのトラブル	1.あり 2.なし	いじめを受けた	1.あり 2.なし

[64]それぞれの質問に、もっとも近い回答を1つ選んで、数字を で囲んでください。

	いつも そうである	しばしば そうである	そんなことは ない
忙しい生活ですか	1	2	3
毎日の生活で時間に追われているような感じがして	1	2	3

いますか			
仕事、その他なにかに熱中しやすい方ですか	1	2	3
仕事に熱中すると、他のことに気持ちのきりかえが できにくいですか	1	2	3
やる以上はかなり徹底的にやらないと気がすまない 方ですか	1	2	3
自分の仕事や行動に自信をもてますか	1	2	3
緊張しやすいですか	1	2	3
イライラしたり怒りやすい方ですか	1	2	3
きちょう面ですか	1	2	3
勝ち気な方ですか	1	2	3
気性がはげしいですか	1	2	3
仕事、その他のことで他人と競争するという気持ちをもちやすいですか	1	2	3

[65]思春期から20歳くらいまでのことについて、お伺いします。

- 不眠がちでしたか。 1. いいえ 2. はい
- 食欲減退気味でしたか。 1. いいえ 2. はい
- 関節痛がありましたか。 1. いいえ 2. はい
- よく日焼けをしていましたか。 1. いいえ 2. はい
- 冷え性でしたか。 1. いいえ 2. はい
- 便秘傾向でしたか。 1. いいえ 2. はい

[66]あなたはこれまでにパーマ(ストレートパーマも含む)をかけたことがありますか。

- 1. いいえ
- 2. はい

● はじめてパーマをかけたのは何歳の時ですか。
()歳の時

[67]あなたはこれまでに髪の毛を染めたことがありますか。

- 1. いいえ
- 2. はい

● はじめて染めたのは何歳の時ですか。
()歳の時

[68]学校教育はどのくらいまで受けられましたか。1つだけ選んでください。

- 1. 中学校 2. 高校 3. 短大卒・専門学校・4年生大学中退
- 5. 大学以上 6. その他()

[69]家計(世帯)の年収(ご家族の合計の税込み年収)はどのくらいですか。

- 1. 100万円以下 2. 100万円台 3. 200万円台 4. 300万円台
- 5. 400万円台 6. 500万円台 7. 600万円台 8. 700万円台
- 9. 800万円台 10. 900万円台 11. 1000万円台 12. 1100万円台
- 13. 1200万円台 14. 1300万円台 15. 1400万円台 16. 1500万円以上

男性の方は 24 ページから始まるストレス調査へお進みください。

女性の方は質問[70]へお進みください。

[70]女性の方のみお答えください。

- 生理（月経）が始まったのは何歳のときでしたか。

（ ）歳

- 生理（月経）の間隔は規則的ですか。閉経されている方は、閉経前の状態についてお答えください。

1. はい 2. いいえ

- 妊娠の経験はありますか。

1. ない

2. ある →

● 合計何回の妊娠経験がありますか。（ ）回
● 初めての妊娠は何歳の時でしたか。 （ ）歳

- 出産の経験はありますか。

1. ない

2. ある →

● 合計何回の出産経験がありますか。（ ）回																				
● 初めての出産は何歳の時でしたか。 （ ）歳																				
● お子さんに母乳（混合授乳を含む）をあげたことがありますか。 1. ない 2. ある → 期間はすべての子を合計して（ ）ヶ月																				
● 出産時のご自身の年齢、子どもの性別と体重をご回答ください。																				
<table border="1"><thead><tr><th></th><th>ご自身の年齢</th><th>子の性別</th><th>子の出生時体重</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1子</td><td> 歳</td><td>男・女</td><td> g</td></tr><tr><td>第2子</td><td> 歳</td><td>男・女</td><td> g</td></tr><tr><td>第3子</td><td> 歳</td><td>男・女</td><td> g</td></tr><tr><td>第4子</td><td> 歳</td><td>男・女</td><td> g</td></tr></tbody></table>		ご自身の年齢	子の性別	子の出生時体重	第1子	歳	男・女	g	第2子	歳	男・女	g	第3子	歳	男・女	g	第4子	歳	男・女	g
	ご自身の年齢	子の性別	子の出生時体重																	
第1子	歳	男・女	g																	
第2子	歳	男・女	g																	
第3子	歳	男・女	g																	
第4子	歳	男・女	g																	

- 不妊治療の目的で薬（ホルモン剤等）を飲んだことがありますか。

1. いいえ 2. はい → 合計（ ）年（ ）ヶ月くらい飲んだ

- 避妊の目的で薬（ホルモン剤等）を飲んだことがありますか。

1. いいえ 2. はい → 合計（ ）年（ ）ヶ月くらい飲んだ

- 更年期障害のための薬（ホルモン剤等）を飲んだことがありますか。

1. いいえ 2. はい → 合計（ ）年（ ）ヶ月くらい飲んだ

ストレスや対処行動に関する質問

現代を生きる私たちにとって、家庭や、職場、地域などにおいて、ストレスと無縁の生活を送ることは難しいと言えるでしょう。とりわけ人間関係のストレスが重要といわれていますが、その対処の仕方は必ずしも容易ではありません。

過度のストレスは生活の質を低下させるだけでなく、健康への影響も無視できませんが、その一方で、適度なストレスは、充実した生活を送る上でむしろ欠かせないものでもあります。

この質問票は、このようなストレスの種類や程度、対処の仕方等について調査するものです。次のページ以降の「回答の要領」を読んでお答えください。

回答の要領

次にあげる記述が、どのくらい日頃のあなたの考え方や行動のしかたにあてはまるかどうか、の中に✓印をつけてお答えください。

	まったく当てはまらない	ほとんど当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	かなり当てはまる	よく当てはまる
1. 活力が湧き、人生に前向きになれるような状態に、いつでも自力で到達することができる。						
2. 周りからいろいろな要求がある場合でも、まずは自分のしたいことを優先する方だ。						
3. 何かつらいことがあったとき、そのことを誰かに話すことが多い。						
4. 長い間とても不満に思ってきたような状況や条件がある。						
5. 大切な願いを実現し、やりたいことを実行するにはどうすればよいか心得ている。						
6. 特定の人に対して、とても魅力的な人に見えたり、反対に嫌な人に見えたりと、しばしば極端に気持ちが変わる。						
7. 人と衝突しそうになったときは、どんな場合でも理性を失わないように努め、感情的になることは極力避ける。						
8. これまでの人生で、何か特定のことで激しい怒りを覚えたような経験は、まったくと言っていいほど無かった。						
9. 辛い状況に陥ったときに、再び幸せな生活を取り戻すにはどうすればよいか心得ている。						
10. とても腹の立つようなことがあると、そのことをすっかり忘れるのは難しいものだと思う。						
11. なかなか思うような関係になれず、淋しい思いをしてきたような人がいる。						

回答の要領

次にあげる記述が、どのくらい日頃のあなたの考え方や行動のしかたにあてはまるかどうか、 の中に✓印をつけてお答えください。

	まったく当てはまらない	ほとんど当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	かなり当てはまる	よく当てはまる
12. 過去のことながら、いまだに何度も思い出されるくらい腹の立つような人がいる。						
13. ある人(たち)との関係が自分にとって良くない場合、それが満足できる関係になるまで様々な工夫や取り組みを行う。						
14. 人とうまくやっていくために、自分の目的をあきらめることが多い。						
15. 自分の幸せをまず考えるようにしている。						
16. 腹の立つことがあったとき、それを誰かにわかってもらいたいと思っても、なかなか難しいことが多かった。						
17. 仕事、趣味、余暇、食事、パートナー関係など、生活の色々な要素をうまく調整しながら幸せに暮らせている。						
18. ひどく気に障るような言動をとる人に対しても、その人を何とか理解しようと努めて、極力感情的に接することのないようにする。						
19. 特定の人に対して、とても大切だと感じたり、反対にひどく腹が立ったりと、しばしば極端に気持ちが変わる。						
20. あの人が幸せでなければ自分も幸せになれない、と思うような特定の人がいる。						
21. プレッシャーのかかる状況におかれた場合、いつも最終的には無事に切り抜けられるような行動を取る。						
22. 何か困るようなことが起こったとき、そのことをほかの誰かに話す方だ。						

回答の要領

次にあげる記述が、どのくらい日頃のあなたの考え方や行動のしかたにあてはまるかどうか、の中に✓印をつけてお答えください。

	まったく当てはまらない	ほとんど当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	かなり当てはまる	よく当てはまる
23. 腹の立つことがあったとき、誰かに話せばすっきりすると思っても、現実にはなかなか話せないことが多かった。						
24. とてもつらいことがあると、そのことを忘れるのはなかなか難しいものだと思う。						
25. 大切な目標を掲げた場合は、いつも自分の力でこれを達成することができる。						
26. よい関係になれないとわかっていても、あきらめきれない人がいる。						
27. こちらの気持ちを理解せず、いつも腹立たしい思いをさせられるような人がいる。						
28. これまでの人生で、飛び上がりたくなるほど嬉しかったような体験は、まったくと言っていいほど無かった。						
29. やりたいことができているような状況を、自力で作り出せているので、充実感とともに暮らしている。						
30. ほかにしたいことがあっても、人に遠慮してあきらめることが多い。						
31. 人のことよりも、まずは自分が幸せに暮らすことを考える方だ。						
32. 何か心配になることがあったとき、そのことをほかの誰かに話す方だ。						
33. 自分の行動が失敗を招いた場合、それは諦めではなくむしろ新しいやりかたを見つけ出すきっかけとなる。						

回答の要領

次にあげる記述が、どのくらい日頃のあなたの考え方や行動のしかたにあてはまるかどうか、 の中に✓印をつけてお答えください。

	まったく当てはまらない	ほとんど当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	かなり当てはまる	よく当てはまる
34. 親しくしていた人のことが、ある時急に嫌になって別れてしまった、というような経験が何度もあった。						
35. なかなか変えられず、とても不愉快な思いをさせられてきたような状況や条件がある。						
36. 誰かに感情をひどく害されても、冷静に考えて、感情的に相手を非難したりしないようにする。						
37. 問題が起こった場合、これをすっきりと解決できるような斬新なアイデアを、いつも見つけだすことができる。						
38. つらいことがあったとき、それを誰かにわかってもらいたいと思っても、なかなか難しいことが多かった。						
39. ひどく落胆するようなことがあると、精神的に立ち直るのはなかなか難しいものだと思う。						
40. 亡くしたり別れたりした人の中で、なかなか忘れられない人がいる。						
41. いつも不快な結果を招くやりかたは止め、長い目で見て心地よい結果につながるように、自分の行動をうまく調整できている。						
42. ある特定の人のことで、たびたび思い出しては腹の立つようなことがある。						
43. これまでの人生で、何か特定のことで深く悲しんだような経験は、まったくと言っていいほど無かった。						
44. 面倒なことを抱え込んでしまうことが多い。						

回答の要領

次にあげる記述が、どのくらい日頃のあなたの考え方や行動のしかたにあてはまるかどうか、 の中に✓印をつけてお答えください。

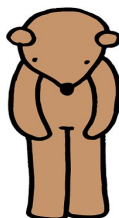
	まったく当てはまらない	ほとんど当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	かなり当てはまる	よく当てはまる
45. 思ったような結果が得られなかった場合、新しいやりかたや考え方を見つけ、それを試すことができる。						
46. 誰かにひどいことをされても、決して感情的になることはなく、あくまでも常識の範囲で対処しようとする。						
47. 自分にとってプラスになることが何もないようなつき合いは、できるだけ避けるようにする。						
48. 大切な人に対しては、優しくしたり、つらく当たったりと、しばしば極端に態度が変わる。						
49. 快適な関係になるように、重要な周りの人(たち)との距離を自分からうまく調整することができる。						
50. あの人がいないと幸せになれない、と思うような特定の人がいる。						
51. 何か不愉快なことがあったとき、そのことを別の誰かに話すことが多い。						
52. 腹の立つような状況に置かれたときに、なかなか状況を変えられないことも多いと思う。						
53. 日々の活動を通じて、常に満ち足りた気持ちで暮らすことができている。						
54. 特定の人のもので、たびたび思い出してはつらい気持ちになることがある。						
55. つらいことがあったとき、誰かに話せばずいぶん楽になると思っても、現実にはなかなか話せないことが多かった。						

回答の要領

次にあげる記述が、どのくらい日頃のあなたの考え方や行動のしかたにあてはまるかどうか、 の中に✓印をつけてお答えください。

	まったく当てはまらない	ほとんど当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	かなり当てはまる	よく当てはまる
56. これまでの人生で、胸が高鳴るほど楽しかったような体験は、まったくと言っていいほど無かった。						
57. 日々の活動を通じて、心身ともにいつも幸せに暮らしている。						
58. なかなか態度を変えようとせず、いつも腹立たしい思いをさせられるような人がいる。						
59. もっと自由に振る舞いたくても現実にはなかなか難しい、と思うことが多かった。						
60. 誰かにひどいことをされても、人前はもちろん、家族の前でも感情的になることはできない方だ。						
61. 暮らしの中で何度でも楽しい体験ができるような状況を、自分で作り出すことができる。						

質問は以上です。ありがとうございました。
次ページから始まる栄養調査へお進みください。



雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Miyake Y, Tanaka K, Fukushima W, Kiyohara C, Sasaki S, Tsuboi Y, Oeda T, Shimada H, Kawamura N, Sakae N, Fukuyama H, Hirota Y, Nagai M, Nakamura Y, Fukuoka Kinki Parkinson's Disease Study Group.	<i>PARK16</i> polymorphisms, interaction with smoking, and sporadic Parkinson's disease in Japan.	J Neurol Sci	362	47-52	2016
Tanaka K, Miyake Y, Fukushima W, Kiyohara C, Sasaki S, Tsuboi Y, Oeda T, Shimada H, Kawamura N, Sakae N, Fukuyama H, Hirota Y, Nagai M, Nakamura Y, Fukuoka Kinki Parkinson's Disease Study Group.	Vitamin D receptor gene polymorphisms, smoking, and risk of sporadic Parkinson's disease in Japan.	Neurosci Lett.	643	97-102	2017
三宅吉博	自己免疫疾患の発症関連環境要因	医学のあゆみ	258	905-908	2016